

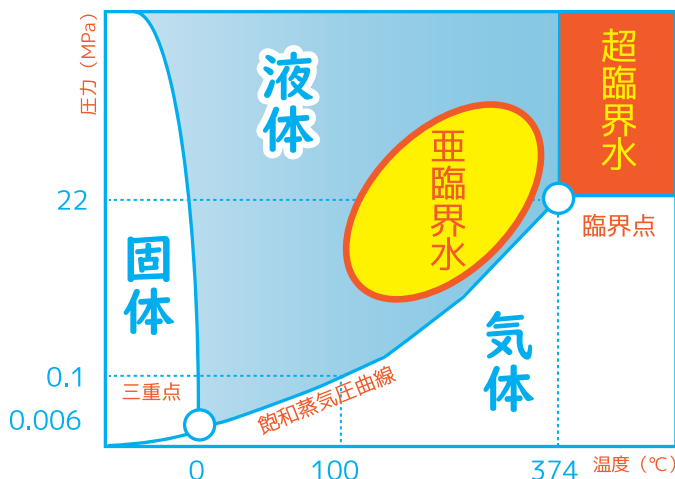
魔法の水 「亜臨界水」

亜臨界水と亜臨界抽出装置（特許出願中）

亜臨界水は、高温・高圧をかけた水のこと。「亜臨界水」という言葉は、薬学博士の坂井至通氏とアイ・ジャパン代表の堀江茂幸が考案しました。

亜臨界抽出装置は、岐阜県、谷田貝光克先生（東京大学名誉教授）、水熱科学研究組合（アイ・ジャパン）の産官学連携で開発しました。

一般的な水蒸気蒸留法は、120℃以下で蒸留するのに対し、亜臨界抽出法は高圧をかけて120℃以上の高温で蒸留します。そのため、下記の特徴があります。



亜臨界水の特徴

- ✓ 高温と高圧をかけることで水分子が活発になり、植物の細胞に入り込んで、成分を丸ごと受け取ります。そのため、天然成分がきわめて豊富なエキスが抽出されます。
- ✓ フィトンチッド成分が豊富に含まれる「葉」からも抽出できるため、消臭・抗菌・防虫・防腐・森林浴といった自然の効果が抜群です。
- ✓ 間伐材を有効利用でき、里山保全に貢献します。樹木や、庭の草木、花やハーブから、地域限定の特産品が作れます。
- ✓ 乳化剤・界面活性剤を使わなくても、精油成分が水に溶け込むため、最高品質のアロマが楽しめます。とくに花やハーブの香りは最高です。
- ✓ 抽出時に有害物質が発生しないため、非常に安全です。有害物質を分解する力があり、廃棄物処理にも応用されています。
- ✓ 酵母菌などが住みやすく、腐敗菌は住みにくい環境を作ります。自然のバランスを保つため、何年たっても腐りません。

※亜臨界水の特徴はまだありますが、書ききれません。魔法の水「亜臨界水」の活用方法を見つけてください。